

事業所や農家の皆さん、職場体験の受け入れ、ありがとうございました！

働くことの厳しさ、やりがいを経験し、
生徒たちの意識が大きく変わり成長しました…



生徒全員が貴重な体験の機会を得ることができましたこと、そして生徒たちに懇切丁寧にご指導いただきましたこと、深く感謝いたします。

◇体験した生徒数◇

一の宮中(2年)	94名
阿蘇中(3年)	56名
阿蘇北中(2年)	106名
波野中(2年)	11名

「キャリア・スタート・ウィーク」とは、5日間の職場体験を通じて、子どもたちの勤労観・職業観や、将来への向上心を育てようと、文部科学省が平成18年度から実施している事業で、本年度は県内で阿蘇市もその指定を受け取り組みました(学校ごと9月～11月に実施)。

今回、市内4中学校267人の生徒が参加しましたが、この生徒たちを受け入れる事業所の皆さんのご協力がなければ実施できない事業でした。しかし、「子どもたちのためになるなら」と、5日間に及ぶ職場体験に、91もの事業所や農家の皆さんが協力してくださいました。無事、



【事前、事後のアンケートの比較】 (一の宮中の場合)

- ・働くということについて考えたことがある。…67.5%→94.5%
- ・仕事の厳しさや大変さを知っている。……………37.0%→93.4%
- ・仕事の喜びや楽しさを知っている。……………59.5%→73.7%
- ・自分の良い面について知っている。……………34.2%→37.4%
- ・将来の夢や希望がある。……………53.3%→60.5%
- ・自分の進路について調べようとしている。……40.6%→69.3%

生徒たちの感想

- ・私は職員の方からたくさんのお話を学んだ。ベッドメイキングや掃除のテクニックなどの技術的なことはもちろん、仕事場や社会の厳しさも教えていただいた。その中でも特に心に残っているのは、仕事をやる時の心得についてだ。この仕事は、お客様に対する思いやりの心を持って、ていねいにこなす事が大切だと何度も言われた。改めて、仕事をするときの責任の重さを実感する事ができた。
- ・学んだ事は、「小さい仕事も大きい仕事も働く人々にとって大事であり、誇りをもっている」という事だ。職場の方々、どんな仕事にも真剣に、自信をもって取り組んでいる姿を見て、その事を実感した。
- ・医療関係の仕事はたくさん種類があり、様々な資格が必要なのだとは知った。人を相手にする職業の中で最も難しい仕事だと私は思う。小さな仕事から大きな仕事まで、多くの人の苦勞が重なって、人の命を救う。難しく必要な仕事だと感じた。
- ・最初は「いらっしやいませ」「や」「ありがとうございます」が恥ずかしくて言えなかったけど3日目には言えるようになりました。言えるようになってから、もっと楽しく仕事をすることが出来ました。
- ・私は将来、歯科衛生士になろうと



なお、今回、事業所の皆さまにもアンケートをお願いし、様々なご意見をいただきました。来年の生徒たちにも貴重な体験の機会がありますよう、関係者一同、課題解決に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

思った。理由は笑顔で帰っていき患者さんを見れたからである。

- ・お客さんがケーキについて質問してきた時、作っている途中でも手を止めて、説明をしていた。とてもお客さんのことを思っているんだなあと思った。
- ・私は今まで血洗いもあまりしたことはありませんでした。しかし職場体験を終えてから、家でたまにするようになりました。流しにあるお皿などを見ると、自分がいなければならぬ、という気持ちになります。